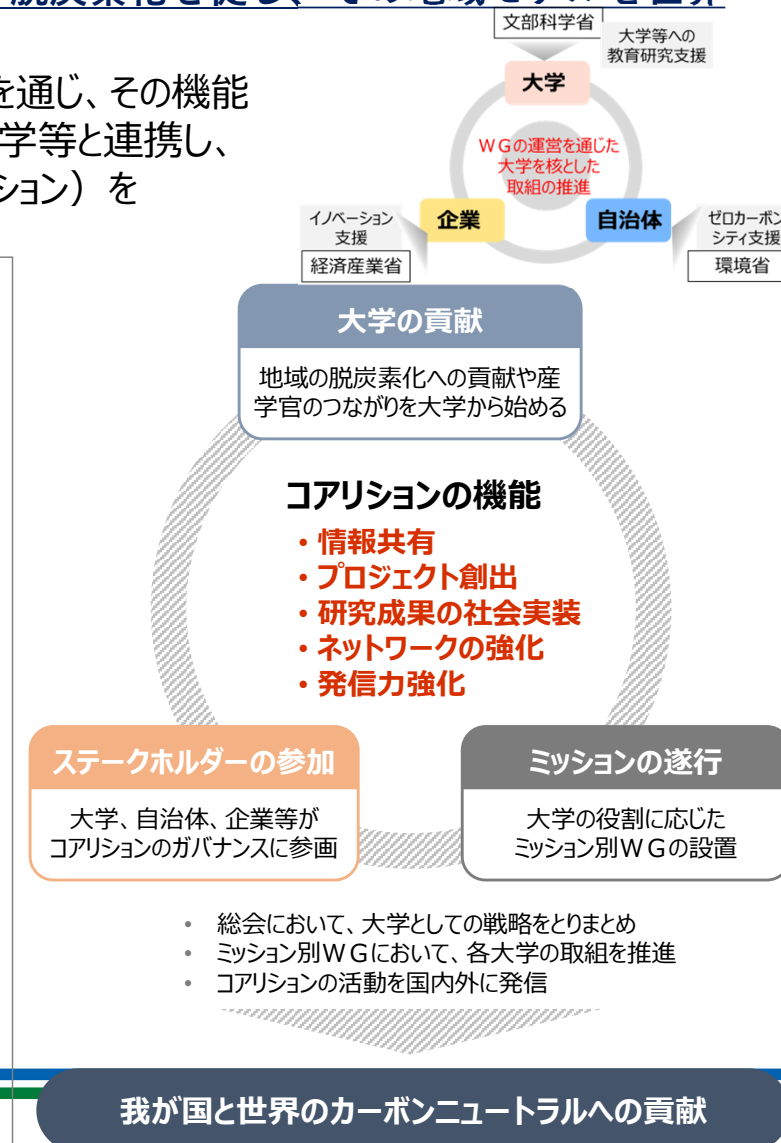
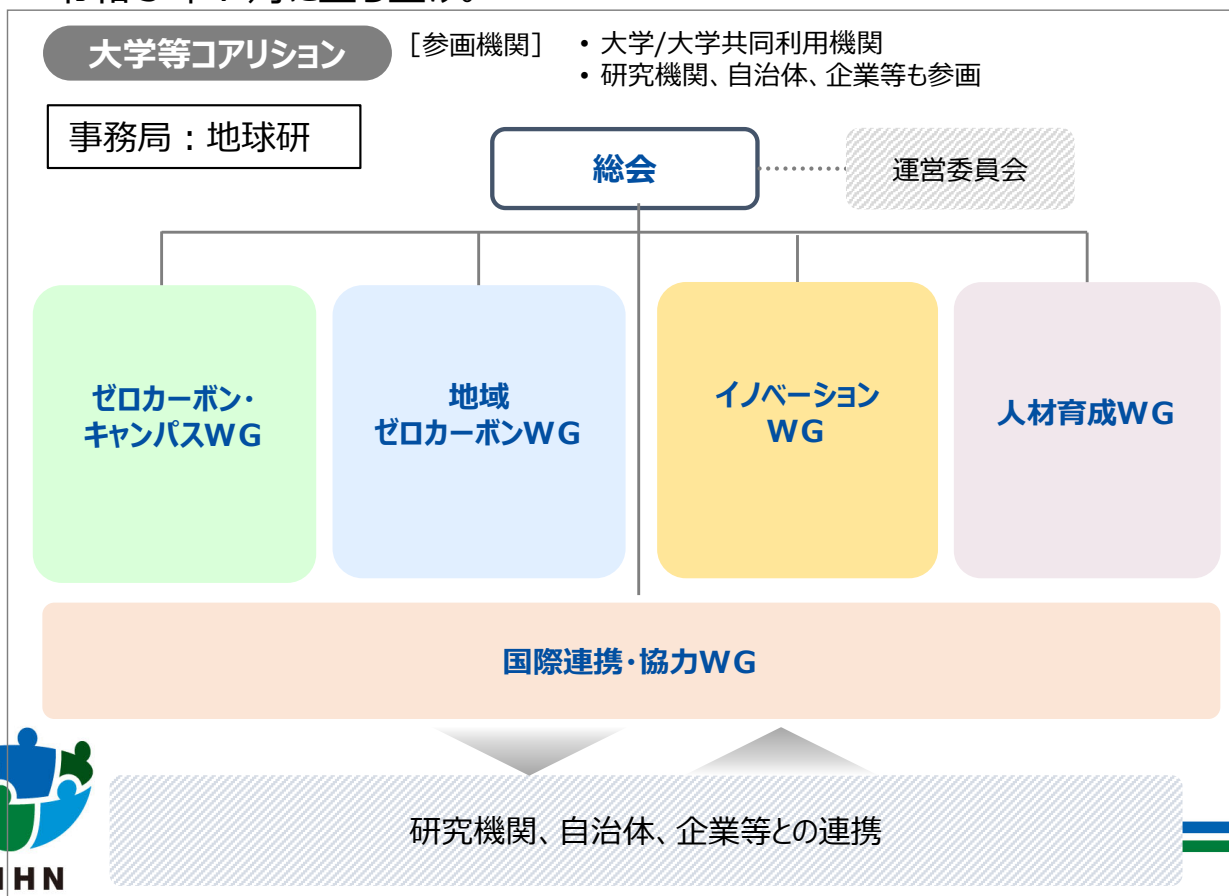


カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

○ 2050年カーボン・ニュートラル実現には、技術イノベーションのみならず経済社会イノベーションが不可欠であり、そのためには、人文社会科学から自然科学までの幅広い知見が必要。教育研究・社会貢献活動を通じて、**国・地域の政策やイノベーションの基盤となる科学的知見を創出し、その知を普及する使命を持つ大学の役割に大きな期待**。また、各地域の“知の拠点”として、**地域の脱炭素化を促し、その地域モデルを世界に展開**する役割も重要。

○ これを踏まえ、大学が、国、自治体、企業、国内外の大学等との連携強化を通じ、その機能や発信力を高める場として、文科省、経済産業省、環境省が、賛同する大学等と連携し、**「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」**（大学等コアリション）を令和3年7月に立ち上げ。

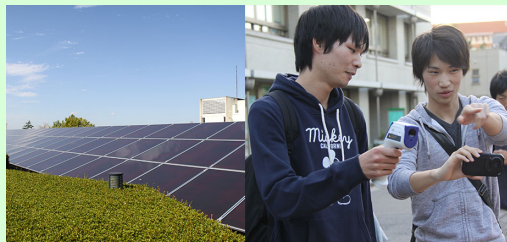


5つのWGの活動と方向性

ゼロカーボン・キャンパスWG

・大学キャンパスのゼロカーボン化の取り組み事例（設備更新、遊休地活用、学生の参画等）を大学間で共有

・全参加大学による方針とロードマップ等の策定（～2025）



「自然エネルギー100%大学」という目標を掲げて環境活動を続ける千葉商科大学

地域ゼロカーボンWG

・地域のゼロカーボン化に向けた地域との連携事例（自治体の計画策定、実証実験等）を大学間で共有

・技術課題・制度的課題等の抽出、解決策の検討（～2025）



地域ゼロWGシンポジウム

イノベーションWG

・各大学における産学連携の事例を共有

・カーボンニュートラルの実現に向けて、理工系だけでなく人社系を含めた研究者が自治体、企業などの社会の担い手と対話できる場を検討（～2025）



京都大学のオープンイノベーション機構の事例発表

人材育成WG

・カーボンニュートラル教育の事例を大学間で共有

・カーボンニュートラル人材の在り方、必要な知識等を分析

・共同教育プログラムや教材の開発を検討（～2025）



東海大学「パブリック・アチーブメント（PA）型教育」

パブリック・アチーブメント型教育：立場が異なる市民が社会で共存するためのルールをつくる活動を実践・学習するプログラム

国際連携・協力WG

・米国、カナダ、メキシコの大学コアリション（UC3）との共同ワークショップを開催し、取り組み事例を日米間で共有

・今後欧州やアジア、アフリカの大学との連携を検討（～2025）

